

「募集力」

(1) 入試制度

- ・商業系特別推薦入試の新設
- ・公募推薦入試（前期型）、一般入試 A 方式の複数出願時の検定料の見直し
- ・センター試験利用入試（一般入試 B・C・D 方式）の検定料の見直し

(2) 学生募集

- ・スポーツクラブ活性化
- ・女子比率の向上
- ・高大連携の促進
- ・教職協働によるオープンキャンパスの実施
- ・「実学」「キャリア開発力」「サポートプログラム」を受験生・社会に訴求
- ・TV コマーシャルによる広報活動の実施
- ・海外現地大学の新規開拓と友好関係の深化
- ・留学生対象オープンキャンパス実施

(3) 一般広報活動

- ・大学の情報を一元的に集約・管理できる仕組み作り
- ・ウェブサイトの定期的なアクセスログ解析や外部企業による客観分析を踏まえ、常に進（変）化するサイト作りを実施
- ・トップメッセージ等の発信により、全教職員に対して経営の透明性と強い経営意志を伝達
- ・海外向け広報の実施

「教育力」

(1) 学部改組・新カリキュラム導入への対応

- ・新たな教育スキームの推進と検証
- ・コース教育を中心とした学部の競争力の涵養
- ・届出内容の実施と履行状況報告

(2) 責任ある教育への取組み

- ・ディプロマポリシー（学位授与の方針）に基づくカリキュラム点検
- ・授業環境の改善（解消すべき大人数授業の選定、SA（スチューデント・アシスタント）制度の充実等）
- ・双方向性のある授業定着への取組み
- ・厳格な成績評価への取組み

(3) 個別施策

- ・初年次教育（入学前教育、オリエンテーション、1年次教育）の体系について検討
- ・学習相談・履修相談体制の整備
- ・ライブラリーツアーの充実による図書館来館者数の向上（本学学生の利用率アップ）
- ・社会連携プログラムの更なる推進（学園都市ゼミ対抗イベントの継続、須磨区との連携協定を活用したプログラムの検討・実施、社会人基礎力グランプリへの応募と支援等）
- ・観光人材育成プログラム（文部科学省 大学生の就業力育成支援事業）への取組み
- ・FD への継続した取組み
- ・第三者評価に向けた取組み

- (4) 課外活動の推進による大学の活性化
 - ・公認クラブ加入率目標 37% (前年度 36.5%)
 - ・クラブ・サークル加入率目標 60% (前年度 58%)
 - ・課外活動加入者を対象とした研修実施による、マネジメント能力の養成
- (5) ルール・マナー遵守
 - ・クラブ顧問・副顧問を通じたルール・マナー、生活指導による学生的人間的成長支援
 - ・学生の事故(犯罪、薬物、悪徳商法、飲酒等)防止に向けた取組み
- (6) 退学・除籍対策
 - ・下宿生(新入生対象)へのケア(入学後説明会、在籍状況確認、交流イベントの実施)
 - ・留学生のメンタルケア
 - ・教職員への定期的勉強会の実施によるサポート体制の充実
- (7) 地域交流・ボランティア促進
 - ・学園都市夏祭り、西区福祉健康福祉フェア、学園子供フェスタ、自治体(神戸市、西区)主催イベントへの積極的参加
- (8) 学生チャレンジプロジェクトの活性化
 - ・社会連携推進委員会との連携による優秀企画の学外情報発信
- (9) 学園祭の活性化
 - ・ゼミによる教室展示の呼びかけ、体育会・文化会イベント企画の実施
- (10) 学内表彰制度の充実
 - ・学内表彰制度の情報発信を強化
- (11) 有朋会との協働
 - ・大学行事に連動させ、ホームカミングデーを実施し、卒業生・在学生・教職員の交流機会を増やす
 - ・支部活動の充実と個別同窓会の開催及び立上げ支援
 - ・卒業生対象のビジネススキルセミナーを新規開催
- (12) 学生の交流活動
 - ・留学生と日本人学生との交流施策の実施
 - ・提携大学における夏季セミナーの拡大と充実
 - ・日本人学生の海外留学の促進
- (13) 資格講座開講
 - ・就職に役立つ資格講座(日商販売士検定、公務員試験対策、基本情報技術者試験、FP技能検定)について、新規の奨学金及びステップアップ割引の設定
- (14) 中内功記念館の活性化
 - ・中内功記念館の説明用ガイドを作成
- (15) 保護者と大学の友好関係の構築
 - ・教育後援会会報誌、情報誌の年5回発行による情報発信強化
 - ・ひょうごウォッチング(バスツアー企画)、保護者と教職員の交流会を実施

「研究力」

(1) 流通科学研究所の更なる活性化

- ・観光ビジネスモデル研究会、まちづくり・流通研究会の継続
- ・「震災と流通研究会」成果物の刊行

(2) 研究支援

- ・研究費の管理運営体制の更なる整備
- ・情報収集と情報提供の強化による外部資金（科学研究費補助金＋受託研究費）獲得件数の向上

(3) 海外との学術交流活動

- ・SARD 第9回ワークショップの展開（Society of Asian Retailing and Distribution アジア流通研究会）
- ・提携大学との交流と新規提携大学の開拓（新規提携数目標4校）

台湾	高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
韓国	東亜大学校、中央大学校、東明大学校
中国	南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学、蘇州大学応用技術学院
ベトナム	貿易大学
タイ	カセサート大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
ニュージーランド	ワイカト大学パスウェイズカレッジ
アメリカ	ポートランド州立大学
フィンランド	バーサ大学

(前年度末提携大学 17 大学)

(4) 海外とのビジネス交流活動

- ・海外研修団の受入れ活動の強化

(5) 流通資料館の深化

- ・流通に関わる企業・団体からの社史・団体史等の収集、新聞・チラシ広告等のデータベース化
- ・映像・音声資料デジタル化のための準備

「就職力」

(1) 就職率

- ・目標 75%（前年度比 5%以上アップを目指す）
（注）就職率・・・「(卒業者数－大学院進学者数) に対する就職決定者数」であり、「就職希望者に対する就職決定者数」ではない。

(2) 就職支援に関する重点施策

- ・学校推薦制度の確立と精度のアップ
- ・学生への業界に関する広報
- ・大阪オフィスの活用（企業とタイアップし説明会・選考の実施、卒業生と在大学生との交流会の実施）
- ・ゼミ担当教員、クラブ顧問・副顧問とのコミュニケーション強化による学生情報の共有
- ・保護者に対し、状況報告及び求人情報について情報発信（年4回）
- ・有朋会と連携し、業界研究・企業研究セミナー実施
- ・理事・評議員等との連携による企業とのネットワーク強化
- ・2年生、3年生に対する SPI 対策の徹底
- ・留学生へのフォロー強化（企業の新規開拓、面接訓練、ビジネス日本語講座の充実）
- ・就職が決まらなかった卒業生へのフォロー強化

「経営力」

- (1) 財務構造の磐石化
 - ・ 3大経費（人件費、教育研究経費、管理経費）のコントロールによる予算統制
 - ・ 第二の収益源の開発に向けた検討実施
 - ・ 監事、監査法人との連携による会計・業務監査の実施
 - ・ 国債を中心としたローリスクな資金運用

- (2) 学園組織
 - ・ リテール科学研究所の設立（研究者の採用、用語集作成準備、論文賞実施準備）

- (3) 個別施策
 - ・ RYUKA プラン 21 に則った事業の推進（全教職員への徹底、各項目における検証、及び対策の実施）
 - ・ 建学の理念に則った、学部改組の実現（新学部 1 年目の各種施策内容検証）
 - ・ 第五回流通シンポジウムの開催（2011 年 9 月 19 日実施）
 - ・ コンプライアンス意識向上に関する取組み
 - ・ 社会的説明責任を果たしていくための学園の情報開示規程の制定
 - ・ 学園の危機管理体制の充実（危機管理マニュアルの作成）
 - ・ 衛生委員会の設置